

## 清掃活動で住みよいまちへ

地域の環境は、町内会の協力できれいに保たれています。清掃活動に取り組む2町内の事例を紹介します。



▲約1時間半の清掃で市指定ごみ袋（大）25袋分を回収



▶大人から子どもまで25人が参加した

### まちの玄関口を 自分たちの手できれいに



大平 和明町内会長  
(鬼木町)

2年前から人吉インターチェンジ周辺の清掃活動をしています。草がひどく茂り、とても汚れた状態になっていたことがきっかけです。JRが運休中の今、この場所はまちの「人の出入り口」のような場所。「せめて正月前にはきれいにしよう」という思いで、役員や住民の皆さんに声を掛けました。参加した皆さんの間にも「続けていくことが大事だ」という意識が広がってきたように感じています。今後は「自分たちのところは自分たちできれいに」という意識を広げ、継続していくことが目標です。

### 無理のない範囲で続ける 地域の支え合い



中村 健一町内会長  
(古仏頂町)

古仏頂町では、観音堂や公民館を班ごとに月1回持ち回りで美化作業し、側溝の掃除なども各班で計画的に実施。また、田んぼを持つ人たちを中心に、水路の清掃や水路周辺の草刈りも行っています。これらは田植えの準備だけでなく、大雨時の地域の被害を抑える大切な作業です。必要に応じて行政の補助金を申請し、草刈り機の燃料代に充てるなど無理なく続けられるよう工夫しています。こうした積み重ねが、地域を守るだけでなく、住民同士のつながりや生きがいにもつながっています。



▲田んぼを持つ人で組合を作り清掃。平均年齢は70歳超え



▶観音堂は市の有形文化財にも登録。観光客も訪れる

## 皆さんのまちづくりを応援します

「人吉市民まちづくり応援事業」は、市民活動団体や自治組織などで取り組むまちづくり事業の費用の一部を、市が助成金を交付して応援するものです。申請はいつでも受け付けています。早めにご相談ください。



▲詳しくはこちら

**申請できる団体** 市内に活動拠点があり、2人以上で構成し、その過半数が市内に住所がある人で作られた団体

※ほかにも要件があります。

**申請方法** 事業内容で申請先が異なります。詳しくはリーフレットで確認し、申請書に必要書類を添えて提出してください。リーフレットと申請書は市ホームページでダウンロードできます。



## 特集 住みよい地域は

## みんなでつくる

私たちが普段何気なく使っている道路や地域の共有スペースは、町内会や地域住民の皆さんの手できれいに保たれています。道路沿いや公共施設の清掃、草取りなど、地域の環境を守る活動は、日々の暮らしをより良くする大切な取り組みの一つです。地域を支える町内の役割を改めて考え、住みよいまちを守るために続けられている地域の身近な活動事例を紹介します。

問合せ 市地域コミュニティ課自治支援係 (☎22-2111 内線1062)

### 町内会の役割

市町内会長連合会の高橋会長に、町内会が地域で果たしている役割や、これからのまちづくりに必要な視点について聞きました。

#### 暮らしを支える町内活動

町内会は、防犯や防災、見守りなど地域の暮らしを支えるさまざまな役割を担っています。その活動を支えるうえで大切なのは、町内会長が地域全体のために動く「全体の奉仕者」としての姿勢です。会長自らが現場に出て汗を流せば、住民の理解や協力も自然と広がっていくもの。顔を合わせ、声を掛け合う機会が生まれることも、町内会活動の大きな意義です。



▲町内会長自ら汗を流し地域に貢献

#### 環境整備は地域の土台

環境整備は、町内活動の中でも欠かせない取り組みです。東間校区では、不法投棄されたごみがないかを事前に

調べ、地図にまとめたいうえで、計画的にパトロールや収集活動を行っています。そうした一つ一つの積み重ねが、地域全体の環境を守ることに繋がっています。環境整備は、見た目を整えるだけではありません。通行の安全や防犯にもつながる、暮らしやすい地域づくりの土台です。

#### 身近な場所は地域で守る

行政にも地域にも、できることには限りがあります。だからこそ、それぞれの特性を生かして役割を分け、うまく協力していくことが大切です。道路や河川、公園などの管理には行政が担う部分がありますが、日常的な見守りや身近な環境の手入れは、地域の力が欠かせません。実際に、草が伸びて利用できなくなっていた河川敷の一角も、住民による継続的な除草や清掃で、高齢者から子どもまで誰もが安心して散歩や遊ぶことができる場所へと変わりました。



▲草が繁茂し使えなくなっていた場所を住民らでよみがえらせた

#### 無理なく続けられる工夫を

た。自分たちが暮らす場所を、自分たちで少しずつ良くしていく意識が大切です。

高齢化や担い手不足で、町内会活動を続けていく難しさは増えています。大切なのは、無理なく続けられる形を工夫することです。清掃活動を短時間で終わらせるようにしたり、参加しやすい雰囲気をつくったり。幅広い世代が関わりやすい環境づくりは、これからの町内会活動に求められる大切な視点の一つです。



町内会長連合会  
たかはししょうぞう  
高橋 昭三 会長  
(西間上町)